

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 13

2024年3月12日発行

3月の聖句

『光の子として歩みなさい』

(エフェソの信徒への手紙5章8節より)

わたしたちをつくられた父なる神さま、その愛をわたしたちに示された御子イエスさま、そして父なる神さまとイエスさまによって遣わされ、わたしたちの心に宿る聖霊なる神さま、その三位一体の神さまのみ光に照らされて、卒園、進級するみなさんは、すでに「光の子」となっています。「光の子」といっても、その意味は難しいかな？

「光の子」も、これからの歩みにおいて、よろこびの日、悲しみの日もあります。最高のとき、落ち込むときもあります。予期せぬ災いから逃れられる存在ではありません。

でもね、ひまわりの花が太陽の光に顔を向け、いのちをつなぐ種をたくさん実らせるように、神さまの光を常に受けましょうね。聖十字幼稚園の礼拝の思い出、生涯にわたって心に残りますように。きっと、どんな日においても、神さまは立ち上がらせ、新しく歩み出せるようにと、備え導いてくださいます。だって、神様はみなさん一人ひとりが「大切」大好きだからです。

神の光を受けて歩むなら、どんな日もむなしい日々なんて無いのですから。

卒園するみなさん。チャプレンは入院中のため卒園式を欠席します。ごめんね。みなさんとご家族の上に神さまの祝福を病床より祈りつつ。2024.3.10記

チャプレン 司祭いけだとおる

大きな学び、洗足式

3月4日(月) 年長さんの洗足式でした。

2000年前、イエス様が処刑される前夜、12人の弟子と最後に食事をしたこと。弟子たちが「誰が弟子の中で一番えらいか」と議論しはじめました。イエス様は立ち上がり、

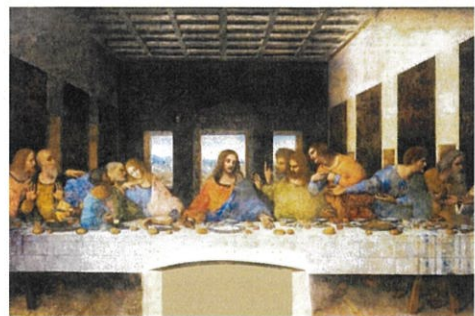
「先生！そんなことをしないでください。」おどろく弟子たちに、「あなたたちは私を先生とよぶ。その私にあなたたちの足を洗うのだから、あなたたちも互いに足を洗い合わなければならぬ。」

そして「上に立つ人は、皆に仕える者のようになりなさい」と、謙遜の心で互いを敬い大切にしよう、事を教えました。

エルマーとリゆうさん、みんなドキドキ、でもとても立派な主様が感謝していました。

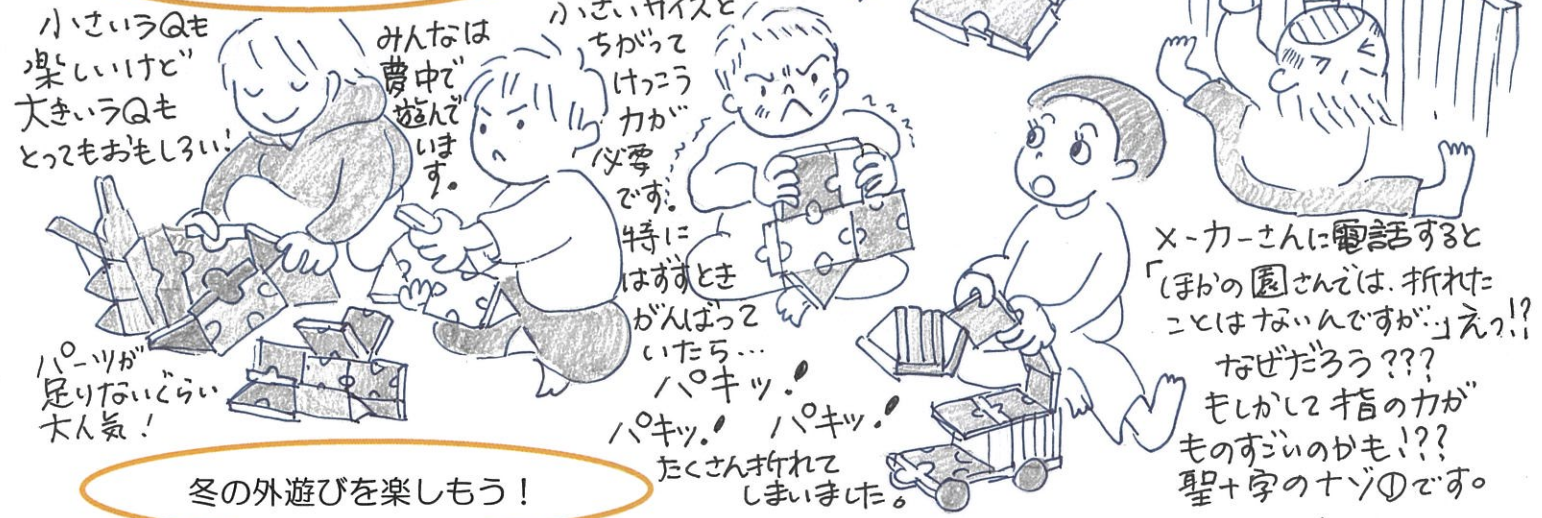


この日は池田チャプレンに代わり、主考女様がみんなと、さいごはかみ先生の足を優しく拭きながら、一人一人の今後の歩みを祝福していただきました。



市連Pが解散になり、各園に10万円弱返金がありました。また夏のバザーの売上げ8万円はPTAさんから来て、みんなが使えるホールフロアに、B区ならQが中間入りです！みんな大喜び！！ありがとうございました。

ラQが割れた！？



冬の外遊びを楽しもう！



3月8日(金) 全部のクラスが集まってお別れ会をしました。卒園生、そして退職するみちこ先生とかよこ先生を送る会です。みんなから、そしてPTA役員さんからも心にしみる歌のプレゼントがあり、エルマーとりゆうさんからの素敵な歌を聴いて、涙のお別れ会でした。幼稚園では1年間毎日たくさんのおともたちが活発に活動し、毎日なにかが起って、子どもたちも、先生たちも、保護者の皆さんも力を合わせてそれを乗り越えてきました。そして今年度も無事に終わろうとしています。子どもたちの輝く成長と、先生たちの奮闘を、あたたかく支えてくださり、本当にありがとうございました。これからもよろしくお願ひいたします。